

「祈りで希望つなぐ」

人道援助宗教NGOネットワーク

東日本大震災から50日となる29日、県内で宗派を越えて活動している「人道援助宗教NGOネットワーク（RNN）」（永宗幸信委員長）が北区で慰霊祭を開き、犠牲者の魂を鎮め復興を祈る。RNNのメンバーで国際医療救援団体「AM



避難所となっている岩手県釜石市の寺で祈る宮本さんら—宮本さん提供

犠牲者を鎮魂 あす北区で慰霊祭

DA「調整員として現地に入り、遺体安置所などで統経した長泉寺

（北区）住職、宮本龍門さん(29)は「祈りで

希望をつなぐことが出来る。岡山からも被災者を心配していること

が伝わってほしい」と話した。宮本さんは3月18日に岩手県入りし、AM DA医療スタッフの補助や物資の受け入れなどを行った。当初はマンプワー不足で食事を

東日本大震災

取る時間や寝る時間もなかったという。時間に余裕ができた22日ごろから、岩手県釜石市の避難所となっている寺で朝、被災者と共に祈りをささげるようになった。被災者が遺骨



宮本龍門さん

る状態で「現地の宗教関係者は相当忙しくしていた」という。その寺の住職から「安置所の統経ボランティアに行ってくれ」と言われ、遺体安置所も回った。遺体安置所となった中学校の体育館には数十体の遺体が並び、「心

災地では「頑張り」という言葉はかけられなかった。一緒に復興に向かって祈ることで、心のつながりを感じる「ことができる」と被災地での活動を振り返った。

RNNは宗教の枠を越え、災害時の被災地支援を行ってきた。慰霊祭は北区尾上神道山祭を行うという。慰霊祭は参加自由。問い合わせはRNN事務局（086・284・146分に合わせて黙とうし、その後、各宗教団

体が祈りをささげる。宮城県石巻市の神社でも同時に同様の慰霊祭を行うという。問い合わせはRNN事務局（086・284・146分に合わせて黙とうし、その後、各宗教団

242）。【石井尚】